



第77回広島県高等学校総合体育大会  
バスケットボールの部

個人トータル表

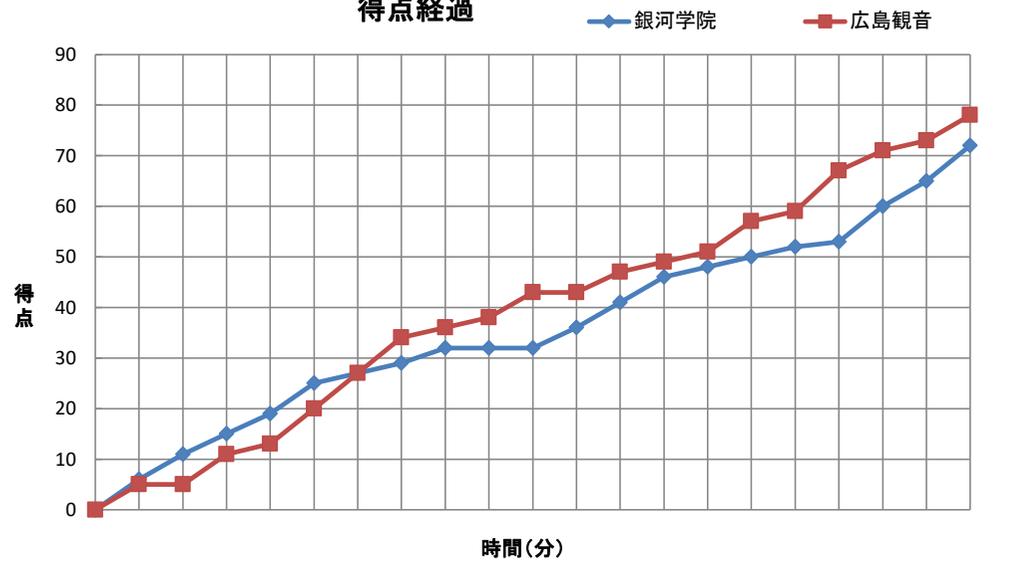
女子		令和6年6月2日	10:00 開始
3位決定戦		府中市立総合体育館	0

銀河学院	72	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>23</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	25	1st	20	7	2nd	23	18	3rd	14	22	4th	21	78	◎ 広島観音
25	1st	20														
7	2nd	23														
18	3rd	14														
22	4th	21														
(広島県)			(広島県)													

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	岡本 歩夢	19	0	7	5	3	4	大井 千悠	2	0	1	0	3
* 5	増成 美琴	20	1	7	3	3	* 5	見影 美優亜	12	1	4	1	0
* 6	阿部 ひかり	12	2	3	0	3	6	岩田 桃香	-	-	-	-	-
* 7	工藤 千愛	6	0	3	0	2	7	酒井 結菜	-	-	-	-	-
8	山成 穂莉	-	-	-	-	-	* 8	小林 歩里	9	1	2	2	4
9	福原 愛音	-	-	-	-	-	9	濱本 美玖	-	-	-	-	-
10	都津川 咲恵	-	-	-	-	-	10	糸地 紘子	-	-	-	-	-
* 11	川崎 菜々	15	5	0	0	2	* 11	白木 彩心	18	1	6	3	4
12	枝廣 歩穂	-	-	-	-	-	12	中本 瑠依	-	-	-	-	-
13	福原 未来	-	-	-	-	-	13	新本 瞳空	-	-	-	-	-
14	森 凧紗	-	-	-	-	-	14	加島 幸笑	-	-	-	-	-
15	小田 未来乃	-	-	-	-	-	15	廣藤 寧	-	-	-	-	-
16	桃田 結衣	-	-	-	-	-	16	西川 七海	-	-	-	-	-
17	行廣 絢音	-	-	-	-	-	* 17	尾上 ひなた	19	1	8	0	0
18	川田 琳月	-	-	-	-	-	* 18	酒井 結衣	18	2	5	2	2
コーチ	津村 茂					0	コーチ	小松 広道					0
Aコーチ	森島 彩花						Aコーチ	森田 奈津子					
合計		72	8	20	8	13	合計		78	6	26	8	13

主審: 山住泰光  
副審: 津田弥子  
副審: 教誓祐二郎

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:20	14:54	33:47	39:08	:	:	:	:
TeamB	:	:	26:17	36:23	:	:	:	:

〔戦評〕銀河学院VS広島観音 スタート銀河学院#4#5#6#7#11 広島観音#5#8#11#17#18  
1Q 両チームマンツーマンDFでスタート。銀河学院#6のドライブ、広島観音#17の3Pで試合が始まる。中盤、銀河学院は3Pシュートが確率よく決まり、リードを少しずつ広げる。対する広島観音も#17を起点に得点を奪う。広島観音はDFで圧力をかけるが、ファウルがかさみ思うようなバスケットができない。銀河学院はリバウンドで主導権を握り、リードを保ち、25-20で銀河学院がリードして1Q終了  
2Q 開始早々、広島観音が激しいDFから得点を重ね逆転をしたところで銀河学院たまたまタイムアウト。その後も広島観音の勢いを止めることができない。広島観音#11と#17のシュートでリードを広げ、残り5分で銀河学院2回目のタイムアウト。タイムアウト後、銀河学院#6の3Pが決まり、応戦する。しかし広島観音#17のリバウンドショット、#18の3Pなどで広島観音がリードを広げ32-43で2Q終了する。  
3Q 銀河学院はDFを1-3-1に変え、#4のスティール、5のレイアップ、#11の3Pで7-0のランを作り点差を縮める。対する広島観音は#18のジャンプシュートで得点を返す。さらに銀河学院は#11の3Pシュート、#4のレイアップが決まり1点差としたところで、広島観音タイムアウト。タイムアウト後、広島観音#17のゴールしたシュート、#5のフローターで流れを引き戻す。銀河学院は#4がシュートを決めるが、逆転を許さず50-57で広島観音がリードして3Q終了  
4Q 序盤はお互いに得点を重ね一進一退の攻防が続く。広島観音#8の3P、#11のドライブで点差が2桁となり、銀河学院タイムアウト。その後、銀河学院#5のリバウンドショット、#11の3P、さらにはスティールからのレイアップで得点するも、10点差前後の点差が縮まらない。銀河学院は最後まで諦めず戦うが、2Q以降、リバウンドとディフェンスで主導権を握った広島観音が72-78で勝利。  
両チームディフェンスとリバウンドを頑張りとても白熱した好ゲームであった。勝利した広島観音は中国大会での活躍を期待したい。

戦評: 原 未来斗

記録: